

県北域内研修

～第1回オープン教室～

12月5日(水) in わだ遊友クラブ

「第1回オープン教室」を、本宮市「わだ遊友クラブ」(白沢公民館和田分館)で実施しました。今回のオープン教室では、わだ遊友クラブで年6回実施している「おはなし会」を参観しました。

「おはなし会」は、大型絵本の読み聞かせ、語り部によるむかし話、紙芝居で構成されています。子どもたちを手遊びでリラックスさせた後、おはなし会が始まりました。読み聞かせと紙芝居は、活動指導員でボランティアサークル「イクタン号GO」のメンバーである村田さんが担当しました。村田さんの心温まる読み聞かせと、子どもたちが本を楽しんでいる様子がとても印象的でした。むかし話では、地域に伝わる話はもちろんのこと、語り部の幼い頃の体験談等も話してくれます。「おはなし会」を企画する上で、大いに参考になりました。



今回のオープン教室では、「イクタン号GO」の村田さんに読み聞かせの“ワンポイントアドバイス”をいただきました。(簡単にまとめてみました。)

- ・子ども教室は、学校でも家庭でもないの、楽しみながらやるのが基本である。
- ・読み聞かせは上手い下手ではないので、子どもたちと一緒に本を楽しもうというスタンスが大切である。
- ・本は立てて持ち、絵はよく見えるようにする。また、“開きぐせ”を付けておくことが大切である。
- ・できるだけ絵の見やすい本を選ぶ。下読みは必要である。
- ・劇ではないので、オーバーに読んだり、声色を変えたり、ゼスチャーを混ぜたりはしない。
- ・読み聞かせの終わりには、自分の思いを大事にするために余韻を残したい。



【参加者から】

- ・手遊びはとても参考になった。おはなし会への雰囲気盛り上げていた。自分の子ども教室でも取り入れたい。
- ・村田さんの絵本の読み方、選書の仕方などのテクニックを聞くことができとてもよかった。

わだ遊友クラブの充実した実践を参観することができ、大いに参考になりました。他の放課後子ども教室でも、ぜひ「おはなし会」を企画してもらいたいです。開催にあたって本宮市教育委員会をはじめ関係者の皆様のご協力に感謝いたします。本当にありがとうございました。